

討議資料

宇田川よしひで

市議会ニュース

vol.14
2008年8月



平成20年6月議会 一般質問特別号

川口市議会議員

宇田川 好秀

ご挨拶

イギリスの経済誌エコノミストは、2月に「JAPAN」(ジャパン)と題した日本特集を組んでいます。ジャパンに英語のペイン、痛みの意味のペインを重ねて、世界第2位の日本経済が政治の混迷でおびえているとして、日本の政治経済状況を皮肉ったものとのこと。スイスの民間研究機関である国際経営開発研究所が発表した

「2008年世界競争力年鑑」では、世界55か国・地域の経済競争力ランキングが示され、1位アメリカ、2位シンガポール、中国が17位にランクされる中、日本の順位は31と下がって22位と、バブル崩壊まで世界1位にあった繁栄日本の面影はありません。こうした日本の相対的な地位の低下は、これから少子高齢化が本格化し働き手が減少する社会にあつて、どうしたら競争力が維持、回復できるのか、痛みにゆがんだジャペイン

から抜け出せるのか私たちに警鐘を鳴らしていると思います。

このことは、当然のことながら私たちの川口市におきましても当てはまるものです。厳しい社会経済環境、財政状況にあつて、市勢の限らない発展のため何をなすべきなのか、不断に問い続ける姿勢をもって、川口市政にかかわっていききたいと思



一般質問

問1

行政需要に対応する執行体制について

市長答弁

議員ご指摘のとおり、昨今の市民ニーズの多様化・高度化と相俟つて、地方分権が進展する中、地方自治を取り巻く環境は大きく様変わりしております。地方分権改革の推進により、

これまで以上の権限移譲も想定されるなど、地方自治体は、自主性・自立性を発揮し地域の

実情にあつた自治の展開を行う、文字通り「地方政府」として責任ある行政執行体制が求められていると認識しております。

そのためには、目まぐるしく変化する環境にもしっかりと対応できる効率的な行政組織のあり方はもちろんのこと、政策的課題の意思決定や対外的な調整にも適切に対応できる執行体制を講じていくことは不可欠なものと認識しております。こうしたことから、本市の行政の執行体制をより強固なものとするためにも副市長の二人体制も視野に入れるなど安定的な行政運営に努めてまいりたいと存じます。



問2

後期高齢者

医療制度について

市長答弁

75歳以上の高齢者の方は、広域連合が健康の保持増進のために必要な事業を行うよう努めることとされており、人間ドックにおいても保健事業の一環として広域連合が実施することになります。保険料が高額になるなどの理由から、現在のところ人間ドック検診料の助成を実施する予定はないこととであります。

本市では、人間ドック検診料の助成は国民健康保険の被保険者で年齢40歳以上の方が対象となっておりますが、平成20年度は、年齢を引き下げ30歳以上から74歳までの方を対象として実施することから、後期高齢者医療制度の被保険者の方は国民健康保険から抜ける



ことにより助成を受けることができなくなり、受診を希望する場合は全額自費負担となります。私は、後期高齢者の方も国民健康保険の加入者と同様に健康の保持増進のために議員ご提案の人間ドック検診料の助成は必要なことと考えておりますので、本市独自の施策として、早期に実施できるよう検討して参る所存であります。



問3

地域の問題について

① 貝塚落しの工事概要、進捗と今後の見通しについて

NSN

建設部長答弁

貝塚落し水路整備につきましては、水路断面が狭少となっている箇所の拡幅工事を行うものであり、工事内容につきましては、県道・吉場安行・東京線沿いに、延長約66m、水路幅1.4m、深さ1.7mの鋼矢板護岸を施工するものでございます。

工事期間につきましては、湯水期に当たります。本年11月から工事に着手し、年度内の完成を予定しているところでございます。

このことから今後、浸水被害の軽減が図られるものと考えておりますが、更なる対策を引き続き検討して参りたいと存じます。

② 都市計画道路・浦和東京線の早期開通について

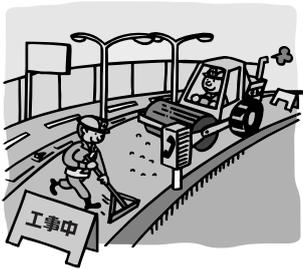
NSN

都市整備部長答弁

未開通区間の3900mのうち、平成19年度に建物移転が完了した55mの区間を、今年度整備する予定でございます。

なお、残りの335mにつきましては、移転をお願いする建物が3棟ありますが、移転に対しましては、所有者のご理解をいただいているところでございます。

今後は早期開通に向けそれから建物の移転先であります地権者のご理解が得られますよう、折衝を進めて参りますので、ご理解賜りたいと存じます。



③ バス路線、駅アクセス改善、不便地解消について

NSN

●今後どのように交通不便地解消に努めるのか

都市整備部長答弁

議員ご指摘のように、安行地域をはじめとして、鉄道、バスなどの公共交通へのアクセスの低い地域があり、その対策には導入空間の確保を含め、交通事業者及び行政の果たす役割は大いいものと認識しているところでございます。

議員ご指摘のような、市内における交通不便地域の利便性の向上につきましては、高齢者などの移動の確保を考慮しながら、バス交通など公共交通による鉄道駅へのアクセスの向上を図る必要があると考えており、今年度実施の「川口市バス路線網等調査事業」の中で、課題や実現に向けた方策などについて検討して参ります。

●川口市バス路線網等
調査事業の内容について

都市整備部長答弁

調査事業の内容でございますが、本市を取巻く交通環境の変化や高齢化社会に対応した高齢者の移動の確保を考慮しながら、主にバス交通等を中心として、バスの運行頻度などの公共交通のサービス条件、地形や導入空間などの運行条件及び利用者並びに利用者負担の見込みなどを勘案しながら、交通不便地域における利便性の向上方策について、問題点や課題などの整理を行う予定です。



市民の皆さんが
安心して暮らせる
街づくりを目指して！

農業の活性化に
ついで

本市の農業は、安行ブランドの植木や花き・草花などの特産園芸品や浜防風、枝物といわれる赤山の切花、木の芽の生産など特色のある営農活動が続けられております。

しかしながら、近年は、農業収入が伸び悩む中、都市化に伴う農地の減少、農業従事者の高齢化や後継者不足、さらには産地間競争の激化など、本市農業を取巻く環境は厳しい状況にあります。

こうした状況を踏まえ、本年4月に「川口の農業を考える有識者会議」が岡村市長の提案により、設置されたところであり

ます。緑化産業に携わる私も、この有識者会議の一員として、本市農業がこれからも継続・発展できるように、しっかりと議論して参りたいと考えております。

こうしたさなか、財団法人川口緑化センターは、特産農業の振興を図るため、生産活動の副産物である花や果実、そして葉となる新芽を活用した独自のブランド商品、「樹里安アイス」を開発、販売を実施し、川口の緑化産業のPRを図るとの新聞報道に接し、私は、大変素晴らしい取り組みであると評価しております。

このアイスクリームは、緑化センター近隣で保健所の許可を受け安全性が担保された食品を扱っている民間の障害者施設

が、商品の一つである安行寒桜の原料となる桜の花びらの塩もみに携わったと仄聞しております。自閉症の子は、桜の花びらを摘むといった地道な作業を継続的に行うことを得意としており、障害者の仕事に繋がるものと推察され、地元営農活動と身障者福祉の向上が期待できる、商品開発であると痛感したものであります。さらには、地元安行桜を使用したお菓子などの開発に成功したと仄聞しております。



川口特産の木の芽山椒の葉を煮沸しアイスに混ぜたものです。山椒の独特の香りがハーブのような感覚で味わえる商品となっております。

川口産のユズをゆずピールと果汁をアイスに混ぜたものです。ユズの上品な香りと、ピールの食感が味わえる商品となっております。

川口・安行のシンボルである安行寒桜の花を塩漬けてアイスに混ぜ塩味風味に仕上げました。塩のしょっぱさと、甘さが一度に味わえると共に、桜の花の香りが楽しめる商品となっております。

商店街活性化のための
商品券事業について

現在、原油価格や食料価格の値上がりにより市民生活は、非常に厳しい状況となっております。また、この市民生活を支える商業関係者も値上がりした商品販売及び大型店との価格競争などで非常に厳しい環境の中で頑張っております。

しかしながら、ただ厳しい状況を看過していても何ら問題の解決にはならず、できることは何かと考えたとき、平成17年度から実施している「商品券事業」は、商店街を活性化し、その恩恵が市民に及び事業であり、前年度に個店使用率の向上を目指し、個店のみで使用できる専用券の導入を行ったことは、画期的であると考えますが、販売においてやや苦戦を強いられたいも仄聞しております。

これからの高齢化社会に向け、地域における個々の商店の果たす役割は大きく、当該事業の推進は、まさに活気ある地域づくりに繋がっていくものと考えます。

小中学校の耐震化について

先週14日に発生した岩手・宮城内陸地震、そして、先月12日、中国四川省を震源とする大地震は、日本国民のみならず、世界中に自然災害の恐ろしさを再認識させるものであります。

とりわけ中国では、地震により倒壊した建物、特に、崩れた学校施設の報道を目の当たりにした時、瓦礫の中から子どもが救出された場面での安堵感とともに、多くの犠牲になった方々を思うと、いたたまれない悲しみを感じるとともに、子どもたちが一日の大半を過ごす学校施設について、まず、安全性の確保を最優先に取り組みべきものと感じた瞬間でありました。

本市は、他の自治体と比較にならないほど多くの学校施設を有し、耐震補強には多額の事業費も必要とされるものであります。昨年度、小中学校の耐震化に対する従来の計画を3年前倒し、平成25年度までの完成目途とした市政の取り組みは、厳しい財政状況の中での事業

推進であり、大いに評価しているところであります。

私は、学習環境の創出と学校施設の安全性を考え、真に児童生徒が活動する学校施設の利用計画を総合的に点検し、耐震補強、改築や施設の廃止などを含め、学校施設として安全な機能を保障し、一棟でも早い安全性が確保できる安全な施設づくりとする耐震化を図るべきであると思つております。

国では、小中学校の耐震化に向けた制度を拡充するとの見解がしめされ、学校施設における早急な安全性の確保が再認識されたものであります。



川口工業総合病院の建替えに関する都市計画の検討について

命を守る皆とも言える医療について、現在の我が国における環境は、医師不足や医療事故、救急車の受け入れ遅延など、我々の日常生活に不安の多い状況と認識しております。特に、妊娠中のお母さんにとってみれば、産科、小児科を扱う病院が減っているという情報は、地域的な相違が想定されるとはいえ、大変な心配事です。

また、既に始まっている高齢化社会は急速に進行し、全国的に見れば、2015年の平成27年には4人に1人が高齢者となると言われています。本市においても、平成20年4月1日現在で人口の約17%の方が高齢者となっており、今後の医療のあり方には、大いに関心を持っているところであります。

こうした中、今後の私達市民の生活と本市の医療行政に大きく関連すると思われる川口工業総合病院の建替えについて、

現在、川口工業健康保険組合と株式会社麻生の両者から、川口工業総合病院の経営改善と安定的な運営のため、川口市に対し川口工業総合病院敷地の容積率緩和等の都市計画変更について要望がなされているとの事であります。

編集発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131
FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

川口市議会議員 宇田川よしひで
Yoshihide Udagawa Official Website

皆様からの多大なご支援・ご期待に応えるべく誠心誠意務めて参ります。

文字サイズ 大 中 小

検索

サイトマップ



川口市議会議員
宇田川よしひで

2007.09.13 9月市議会定例会 一般質問

皆様の手足となって動くをモットーに!

記事

- ※ 宇田川ブログ (367)
- ※ 活動報告 (27)
- ※ 市議会会議録 (1)
- ※ 市議会ニュース (32)
- ※ 一般・雑記 (38)

記事の履歴

- ※ 2008年 7月 (29)
- ※ 2008年 6月 (31)
- ※ 2008年 5月 (30)
- ※ 2008年 4月 (25)
- ※ 2008年 3月 (34)
- ※ 2008年 2月 (30)
- ※ 2008年 1月 (36)
- ※ 2007年 12月 (31)
- ※ 2007年 11月 (29)
- ※ 2007年 10月 (32)

フォトギャラリー公開中

掲載記事: 2007.04~

宇田川ブログ

[2008-07-30] 特定健康診査の実施案内
私のところにも、6月30日付けで、川口市国民健康保険長名で、「特定健康診査」の実施案内が届いている。これは、4[...]

[2008-07-29] アサガオ
小学校の子供たちが、夏休み前の終業日の日に、アサガオの鉢植えを学校から持ち帰る下校風景を毎年見ているが、「重た[...]

[2008-07-28] 市内農業者との懇談会
7月28日緑化センター樹屋にて、「川口の農業を考える有識者会議」の懇談会が開かれた。私はこの会議のメンバー[...]

What's New

[08/04] 宇田川レポート13 Up
[08/01] フォトギャラリー公開

About Me

みなさんこんにちは。は、川口市議会議員の宇田川です。このホームページから市長の首脳に広く情報を発信してまいります。どうぞ宜しくお願いします。

後援会事務所 (双葉会)
埼玉県川口市安行1117

<http://y-udagawa.jp/>

活動情報
発信

活動情報を掲載!
ブログも随時更新!